

単元名：傷害の防止

犯罪被害の防止

(全8時間扱い中 第4時)

授業日時 令和3年7月8日(木) 第1校時

授業学級 2年D組

授業会場 2年D組教室

授業者

指導者

(1) ねらい

犯罪が起こりやすい場所や場面を基に、犯罪被害を防止するための方法を理解することができる。

(2) 授業のポイント

- ・場面：犯罪被害はどのように起こり、どうすれば防止できるのだろうかを考える。
- ・活動：犯罪被害の防止について、要因を基に考える。

(3) 展開

過程	活動	○授業者の主発問・◇留意点・★教材	時間
導入	【単元の学習問題】 犯罪被害はどのように起こり、どうすれば防止できるのだろうか。		10
	1. イラストを基に、犯罪被害の要因について考える。	○「このイラストのような場所を一人を通ったらどのような感じがしますか？」 ◇イラストから犯罪被害には人的要因、環境要因があることを確認し、学習課題を据える。	
	【学習課題】 犯罪被害の防止について、要因を基に考えよう。		
展開	2. 資料を基に、環境要因とその対策について理解する。	◇犯罪被害のデータや具体的な場所を提示し、身近な犯罪被害の環境要因を捉えられるようにする。 ◇資料を参考にし、環境要因の対策について理解する。	10
	3. 資料を基に、人的要因とその対策について知る。	◇具体的な犯罪を取り上げ、犯罪被害の人的要因を考える。 ◇資料を参考にして人的要因の対策について理解する。	10
	4. 掲示した場面を基に、犯罪被害の防止策を考える。	○「この場面ではどのような危険があるのでしょうか。また、危険を回避するためにはどうすればよいでしょうか。」 ◇具体的な要因や防犯について考えている生徒に発言を促す。 【評価】 犯罪被害が起きやすい場所や場面を基に、犯罪被害の予測と回避するための具体的な策を理解している。（観察・ワークシート）	10
	5. 本時の学習を振り返る。	○「授業の振り返りをしましょう。」 ◇本時の学習を通して学んだことを発言するように促し、まとめをする。	10